

## II 暮らしの向上

### 4 こども・女性支援の充実

主担当部局長名  
こども・女性局長 福西 清美

#### 目指す姿

安心して子どもを生み育てられる環境づくりを推進し、次世代を担う子どもの心と命を守ります。また、就労支援を通じた女性の社会参画を促進するとともに、女性がいきいきと輝く社会づくりを目指します。

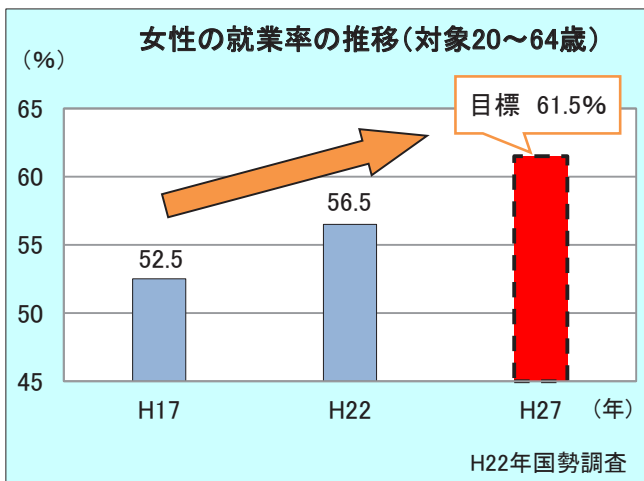


子どもスマイルキャンペーン

#### これまでの成果

- ・安心こども基金を活用した保育所新設・増改築を推進したことにより、平成22年度からの6年間で合計2,698人の定員が増加しました。
- ・奈良県の女性が輝き活躍するために、男女ともにライフステージの各段階で多様な選択肢の中から自らの道を選択できる社会を目指す「奈良県女性の輝き・活躍促進計画」を平成28年3月に策定しました。
- ・児童虐待防止のための県と市町村の具体的な行動計画を定めた「奈良県児童虐待防止アクションプラン」に基づき、各種の取組を実施し、その結果を公表しました。(H27年9月)

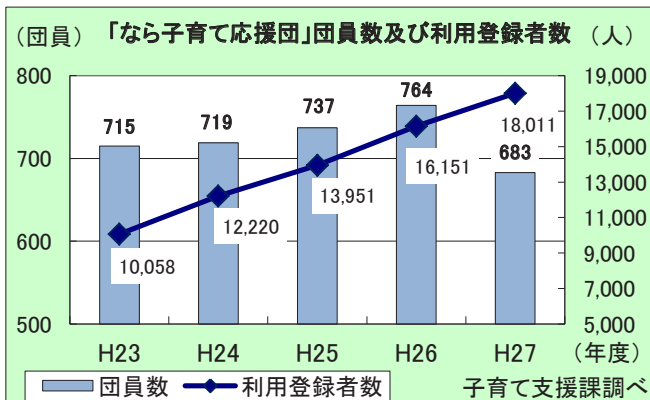
### 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成27年中に女性就業率(20～64歳)を61.5%まで高めます。(H22年:奈良県56.5%【全国最下位】、61.5%はH17年の全国平均)
取組	平成23年6月に開設した「子育て女性就職相談窓口」に、奈良労働局との連携により、平成26年3月から「ハローワーク職業相談窓口」を併設する等機能の充実を図り、女性の就労を支援しました。
成果	女性の就業率(対象20～64歳)は依然全国最下位であるものの、各種就業支援制度の効果により、30～34歳の女性の就業率が向上する等、全体では平成17年の52.5%から4.0ポイント上昇し、平成22年は56.5%になりました。

### 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①子育てに心理的・精神的な不安・負担を強く感じる母親の割合を平成31年度までに10.0%以下にします。(H25年度:13.3%) ②全国平均と比べて落ち込みが大きい、子育て世代である35歳から39歳の女性の就業率を平成27年中に60.2%まで高めます。(H22年:奈良県56.2%で全国最下位。60.2%はH17年の全国平均)
------	--



取組	子育てに関する不安の低減をめざし、地域全体で子育てを応援する機運を高める県民運動を展開しました。(①)
成果	県民運動「子どもスマイル・キャンペーン」による啓発活動を市町村、県内企業・店舗等と協働して11回実施しました。併せて「なら子育て応援団」の約700団員に、子育て応援メッセージとともにサービス内容をわかりやすく周知いただき、「なら子育て応援団」利用登録者数は、平成26年度より1,860人増加しました。